

## 「夏」を越え、2学期がスタート

今年の夏休みは暑い日が続いたり、大雨が続いたりという不順な状態でしたが、みなさんはどのように過ごしてきましたか？自分なりに目標・計画を立て、頑張りどころを自分で考えて取り組んでいくことはできましたか？それぞれの達成状況はどれほどだったのでしょうか。私自身も多くのクラブ活動等には顔を出していきましたが、暑い中しっかり頑張っている「庄内さくら学園中学生」の姿を見ることができました。コロナ禍での大会なので、保護者の方にはほとんど見ていただけなかったのが少し残念です。特に3年生は最後のクラブの夏を熱く燃えて頑張ってくれたものと思います。

またこの夏休みには、オリンピックが東京で開催されていました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京をはじめいくつかの府県では緊急事態宣言が発令されている中で開催となりました。このことについては賛否両論が飛び交いましたが、結局はダブルスタンダードのような形で行われました。しかし始めてみると、アスリートのひたむきに頑張る姿は、多くの人に感動を与えました。これこそ「スポーツの力」なんだと実感しました。その中で、私が印象に残っているのは、スケートボードのディダル選手の姿でした。

## 「失敗しても、NEXT ONE」～スケートボード ディダル選手

スケートボードで、何度も技に挑戦するが失敗して転倒。それでも笑顔で「ありがとう」と語るディダル選手の姿がそこにはありました。例えどんな失敗でも、それは次への通り道。だからこそ、彼女にはライバルたちの存在も、よりよい記録に挑むための「仲間」なのだと言う。その証拠に今回も、トリックで転倒してしまった選手を励まし、一方、ライバルが、自分を超越る大技を決めても...駆け寄って、我が事のようにしゃぐディダル選手。



「スケートボードは人生と同じで、何度失敗しても立ち上がって進み続けるもの。結果がどうあれ、私はここにいられることが嬉しいのです。最高の舞台上、限界へ挑めることがうれしくて仕方ない。」そう言って笑う彼女の姿に、スポーツはそもそもメダルを争う競争ではなく、お互いをリスペクトして最高のパフォーマンスを表現し合うものであり、これこそがオリンピック精神なのではないかと考えさせられるものがありました。

「多様性と調和」というテーマを掲げて取り組んだオリンピックでしたが、選手たちはそんな思いを形にしていこうとする場面はたくさんありました。しかし、私たちの足元ではまだまだかけ声だけに終わっている面も多く感じられました。

彼女がスケートボードに出会ったのは12歳の時。友人から借りたボードに乗ると、夢中になった。いくつかのトリックを教えてもらおうと、その日のうちに身につけてしまったという。コンテストで彼女は日頃の練習の成果を発揮し、賞金を獲得した時、彼女の頭に

浮かんだのは「このお金で家族のためにお米が買える」ということだった。厳しいストーリーで過ごす中で持ち続けていた”家族を貧困から救いたい”という漠然とした思い。スケートボードで、この目標を実現できるかもしれないという可能性を感じた彼女は、更にスケートボードに対するモチベーションを加速させていったといいます。

2学期の教育活動が始まります。コロナ禍という難しい状況で当初の予定通りにはいけません。 「多様性と調和」つまり、生徒一人ひとり「みんなが主役」の思いで、クラス・学年そして学校全体で取り組んでいきたいものですね。

## 緊急事態宣言延長に伴い

# 2学期の行事が変更になります！

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大阪府に発令されています「緊急事態宣言」が延長され、新たに8月20日から9月12日の期間に設定されました。大阪府においては、感染者数が連日過去最高の数値を示すなど厳しい状況を迎えています。また豊中市内でも感染者数が大きく増加傾向にあり、市内の小中学校においても児童・生徒及び教職員等の感染拡大の状況にあります。

このことに伴い、豊中市教育委員会より「宿泊を伴う行事や府県間の移動を伴う行事について（9月1日～12日に出発する分）は、延期とします」との通知がきました。よって本校で予定していました宿泊行事、2年生のキャンプ（9/1～2）及び3年生の修学旅行（9/12～14）については、変更せざるを得なくなりました。

今後、これにかわる行事・活動については、感染状況をみながら検討していきたいと考えています。ご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。

また部活動については、感染拡大防止対策を徹底しながらの活動とするが、「府内外を問わず他校との練習試合や合同練習等は実施しない」との通知が豊中市教育委員会よりありました。よって、本校でも予定していました練習試合等は中止とします。

現在のウイルスの感染力が強い状況をふまえ、改めて「マスクの着用、手洗い・消毒、密を避ける、換気を行う」などの感染拡大防止対策を徹底し、子どもたちと日常の教育活動を創っていきたいと考えています。これまで予定していました行事や活動等も大きく制約がかかってくるかと思いますが、コロナ禍でできる範囲の中で取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解ご協力をお願いします。

ご家庭におかれましても、毎朝の検温、健康観察、マスクの正しい着用や手洗い・消毒の徹底等について、一層のご協力をお願いします。子ども本人や同居家族に発熱等かぜ症状が見られる場合やPCR検査を受けることになった場合は、登校させずに学校へ連絡をお願いします。

**9月9日(木)は、創立記念日となっています。**

# クラブ活動から「夏」の報告

暑い夏、熱い思いで頑張りぬいたクラブ活動。特に3年生にとっては、多くのクラブで最後の大会となるだけに、強い思いで頑張る姿が見られました。勝って喜ぶ姿も、負けて悔し涙を流す姿も、どちらもこれからの自分を創る糧になっていると感じています。

この夏の大会等で入賞したクラブ等については、下記のとおりです。

## <吹奏楽部>

- ◆ 第60回大阪府吹奏楽コンクール北摂地区大会 = 「金賞」

## <女子バスケットボール部>

- ◆ 第74回豊中市民バスケットボール大会  
中学生女子の部 = 優勝
- ◆ 大阪選手権大会 = ベスト16

## <剣道部>

- ◆ 近畿中学校総合体育大会 = 出場 宮内実寿希

## <バレーボール部>

- ◆ 大阪中学生バレーボール優秀選手（豊能地区選抜） = 山口 真優奈

## <水泳部>

- ◆ 豊能地区総合体育大会

男子総合の部 = 2位

200m 自由形=2位 田中 陽和      50m 自由形=優勝      大坂 進太郎  
100m 背泳ぎ=2位 原田 楓叶      100m 平泳ぎ=3位      開 亮誠  
400m フリーリレー=3位 (大坂、田中、原田、時本)

- ◆ 豊中市中学校総合体育大会水泳競技

男子総合の部 = 優勝

400m メドレーリレー=優勝 (原田、開、大阪、岸上)  
200m 自由形=2位 田中 陽和      200m 平泳ぎ=3位 守田 悠人  
50m 自由形=優勝大坂 進太郎      100m 自由形=優勝 大坂 進太郎  
100m 背泳ぎ=2位 原田 楓叶      100m 平泳ぎ=優勝 時本 幸一郎  
100m 平泳ぎ=2位 開 亮誠  
400m フリーリレー=優勝 (大坂、岸上、田中、原田)

- ◆ 第44回豊能地区中学生学年別水泳競技大会

3年男子の部 = 2位

1年女子 100m 背泳ぎ=2位 原田 莉帆      2年男子 100m 自由形=3位 今田 温人  
3年男子 100m 背泳ぎ=2位 原田 楓叶      3年男子 100m 自由形=3位 大坂 進太郎  
3年男子 100m 平泳ぎ=優勝 開 亮誠      3年男子 100m 平泳ぎ=2位 時本 幸一郎  
3年男子 400m リレー=2位 (大阪、岸上、田中、時本)